

豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまち

広報そえだ

Soeda
Public
Relations



平成
30年

謹んで新春の
お慶びと
申し上げます

そえだまち観光大使
熊谷真実さん

撮影・河内真紀央さん

添田町の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年、父のふる里である添田町の観光大使に就任させていただきました。子どものころからよく遊びに来ていた添田町。添田町のおいしい水や空気、そこで育った新鮮な野菜をはじめとした特産品、そして何より町民の方々の温かさが私は大好きです。

今年も添田町の魅力を全国へ向け、どんどんPRしていきたいと思います。この新しい年が、添田町そして、添田町の皆様にとりまして、実り多き年になりますことをご祈念申し上げます。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

JAN.2018

1

そえだまち観光大使 熊谷真実

No.675

謹賀新年



添田町長 寺西 明男

あけましておめでとうございます。初春を迎え、いかがお過ごしでしょうか。昨年も添田町、いろいろな出来事がありました。1月はJR日田彦山線をSL人吉号が走り、多くの子どもたちの歓声が上がりました。2月は落合こてんぐ塾が読売新聞社筑豊賞を受賞。地域での取り組みが評価されました。3月は各学校等の卒業式です。添田町就農実践塾も2名の卒業生を出しました。

4月は、イタリアから30名がバスツアーで英彦山に来ました。山伏弁当の昼食で、海苔を巻いたおむすびに感激していました。油木ダムウォーキングも地元の方々が総出で開催され、参加者はもとより、地域のコミュニケーションの強さを感じました。また、福岡県市町村名勝庭園協議会が築上町の旧蔵内邸で名勝庭園を有する8市町村で設立されました。添田町には、昭和3年名勝指定の雪舟庭園の旧亀石坊庭園があります。

5月、各地区で神幸祭が開催。英彦山では野鳥の会の九州大会が行われました。英彦山山開き、多くの登山客で賑わいました。6月、女優の熊谷真実さんにそえだまち観光大使として快く

8月は、豪雨災害にもめげず花火大会を開催しました。多くの皆さんが激励に見えて頂きました。

山の日を記念して、英彦山参道駆け上がり大会、今回で2回目ですが名物の大会になりそうです。中元寺薬師堂では、4年前に盗難にあった十二神将の3体が戻ってきました。

9月、英彦山サイクルタイムトライアル大会では、これまで最高の580名を超える参加者が英彦山路を疾走しました。

10月、JR日田彦山線の全面復旧の陳情を繰り返し行っています。JR九州は鉄道こそが信用の土台であると思っています。

11月、上津野収穫祭は天気に恵まれ多くの人出でした。地域の皆さんの手で創り上げた祭りです。地域おこしの手本です。

英彦山男魂祭の会場である深倉園地が豪雨災害のため使えなくなり、今回、北九州小倉井筒屋前で地元の人が出向いて、市民の皆さんに添田町、落合、英彦山の新鮮な野菜などを持っていき、アピールしました。

12月、全国の町村がブースを出して、自分たちの町や村をアピールする「全国町イチ！村イチ！」が東京で開催され、そえ

お引き受け頂き、就任してもらいました。真実さんの気さくな人柄やお父様のふる里と言うことで、就任式ではオークホールいっぱい町民の皆さんが詰め掛け、喜んで頂きました。都市圏をはじめ、全国へ添田町をアピールしてもらっています。また、歴史と文化を活かしたまちづくりと題して、デービッド・アトキンソンさんの講演が地方創生大臣もお見えいただき、多くの参加者のもとオークホールで開催されました。その中で観光振興の4つの条件を述べていました。自然、気候、文化、食事です。添田町にあてはめて考えてみると満点であり、あとは工夫次第だなと感じたところです。

7月は大変な月でした。7月5日、線状降水帯による九州北部豪雨です。朝倉市・東峰村・大分県日田市と共に激甚災害の指定を受けました。他の市や村では尊い人命を失っています。ご冥福をお祈りしますと共に当町をはじめ、被災に遭われた皆様に改めてお見舞い申し上げます。ボランティアの皆さんや全国各地からのご支援、本当にありがとうございます。今、復旧、復興に頑張っています。

だまち観光大使の熊谷真実さんも駆けつけて頂き、添田町の良さをアピールしてもらい、平成29年を締めくくっていただいたところです。

平成30年も多くの出来事が待っていることだと思います。添田町にとって厳しい年ではあります。田町に、皆さんと力を合わせれば未来への希望が見いだせると感じています。まち（地域）のことを大事にしたい。そんな想いで、成年の2018年を皆さんと添田町を活性化していきたいと思っています。

まちづくり「参加すること」はもちろんです。様々な理由でまちづくり活動に参加できなくても、地域のために働いてくれる人に感謝し、その活動を伝えること、まち（地域）の魅力を伝えることも、すべてまちづくりです。皆さんの幸せを培うものです。

平成30年、節目の年ですが、何か良いことの起りそうな予感のする年です。それだけに、今後とも、決意を新たに頑張っていきたいと思っています。

どうか、町民の皆さんのご支援、ご協力をよろしく願います。年頭のごあいさついたします。

プレイバック2017年

「**昨年も、町ではたくさんの出来事がありました。皆さんの2017年は、どんな1年になりましたか。2017年の添田町を振り返ってみましょう。**」



11月 November

3日／上津野収穫祭



↑20回目となる上津野収穫祭。大盛況でした

4日／第43回総合文化祭（～5日）

5日／油木ダムを美しくする会清掃活動

8日／第29回町内小学校音楽発表会

10日／金婚式

11日／添田中学校合唱コンクール

12日／英彦山男魂祭in北九州



↑北九州市で添田町をPRした英彦山男魂祭

12日／男女共同参画推進事業「人生サポート講座」～自分らしく生活するために～

15日／英峰日進塾開校式

19日／道の駅歓遊舎ひこさん感謝祭

25日／収穫列車みのり号

25日／親子で楽しむ科学実験

12月 December

1日／第33回少年の主張大会

5日／人権講演会 講師：fucchiE氏

9日／こどもとしょかんクリスマスおはなし会

15日／防犯交通安全もちつき・暴力追放住民総決起大会

16日／児童館クリスマス☆フェスタ

20日／添田町フォトコンテスト表彰式

22日／添田公園子ども広場遊具整備工事

28日／添田町消防団歳末警戒

9月 September

3日／添田町消防団ポンプ操法大会

18日・23日／添田町敬老会

24日／第27回英彦山サイクルタイムトライアル大会



↑過去最多の581人が英彦山路に挑みました

29日／秋の交通安全パレード

30日／国指定重要文化財中島家住宅保存修理工事見学会

10月 October

1日／第52回添田町地区公民館対抗球技大会

1日／添田町デマンド型乗合交通「まちいこカー」運行開始

13日／老人クラブスポーツ大会

15日／町立図書館開館20周年、添田町読書会発足35周年記念村田喜代子氏講演会「ずうっと小説を書いてきた」

17日／添田町戦没者慰霊祭

19日／踏破鍛錬そえだ立志の道（～20日）

21日／秋のJRウォーキング

22日／第48回衆議院議員総選挙・第24回最高裁判所裁判官国民審査（投票率 60.58%）

28日／第30回ふる里まつり（～29日）



↑30回の節目を迎えたそえだふる里まつり

28日／SOEDA 星空フェスタ 2017

7月 July



↑各地で甚大な被害をもたらした豪雨災害

5日／九州北部豪雨災害発生

23日／添田町子ども会球技大会

25日／人権講演会「人権システムを創造するために」～部落差別解消法をふまえて～講師：北口末広氏

29日／「重文・中島家住宅推進協議会」設立

8月 August

3日／町指定文化財「十二神将」の3体が帰還



↑盗難の木像が中元寺薬師堂に戻りました

4日／北海道美深町教育交流受入事業（～7日）

5日／そえだ花火大会



↑多くの人が訪れたそえだ花火大会

8日／夏休み企画「理科読体験」

9日／田川飛翔塾入塾式

11日／山の日制定記念英彦山登山大会
11日／第2回英彦山参道駆け上がり大会

26日／男女共同参画推進事業「親子料理教室」～休日の昼食づくり教室～

5月 May

13日／子ども読書週間おはなし会

14日／添田神幸祭子ども山笠集結

27日／英彦山山開き前夜祭

28日／英彦山山開き



↑山頂での弁当の味が格別だった英彦山山開き

6月 June

10日／英峰塾開校式

10日／ホタルまつり

12日／熊谷真実さんそえだまち観光大使就任式

16日／学校図書館支援スタッフ養成講座「本の補修方法研修会」

18日／男女共同参画推進事業「DV・ストーカー対策講座」～お互いのことを見つめなおすために～

24日／デービッド・アトキンソン氏「歴史・文化を活かしたまちづくり講演会」

24日／あじさい・ラベンダーまつり

27日／小学校芸術鑑賞会

3月 March

10日／SL回送

19日／第27回岩石城まつり

25日／そえだ公園桜まつり

26日／第3回姫活祭

27日／「英彦山門前町同好会」設立

29日／図書館講座「読書感想画をかいてみよう」

4月 April

2日／2017 油木ダム桜ウォーキング大会

8日／子ども読書の日おはなし会

14日／春の交通安全パレード

15日／「津野神楽」が国指定無形民俗文化財「豊前神楽」の構成団体として追加指定



↑鬼に抱かれた子どもは健康に育つと言われます

15日／シャクナゲまつり（～30日）

22日／春のJRウォーキング

23日／若者定住住宅入居者歓迎セレモニー

1月 January

8日／添田町成人式

8日／添田町消防団出初式



↑新しい一年の初め、気を引き締めました

11日／田川広域定住自立圏形成協定締結式

17日／添田中学校立志式

20日／二分の一成人式（計4日間）

21日／SL人吉の客車で行く！日田彦山線の旅！

2月 February

5日／町民たこあげ大会



↑雨のため、デザイン審査のみとなりました

9日／「英彦山」が国史跡に指定

14日／布の絵本作成講座（全3回）

田川8市町村が連携 一般廃棄物処理施設を 大任町に建設

田川地区の一般廃棄物処理施設は、し尿処理施設が3施設、ごみ処理施設が3施設、最終処分施設が2施設あり、いくつかの市町村ごとに共同運営をしています。これらの施設は、老朽化により建て替え時期を迎えています。田川8市町村で協議した結果、各施設を共同で建設することで、建設費・維持費を大幅に削減できることがわかりました。現在、大任町では7市町村から各施設の建設についての委託を受け、大任町内に建設整備を進めています。

一般廃棄物施設の建て替えについては、建設用地の確保、住民への説明、費用対効果など様々な課題がありました。今回は、大任町に建設するようになった経緯を説明します。

田川地区の人口規模では各施設は一つで十分？

し尿処理施設やごみ処理施設は「迷惑施設」や「嫌悪施設」などとも呼ばれ、地域住民が建設に反対することが多く、一般的にこの自治体も建設地を選定することが難しい施設でもあります。

田川地区も例外ではなく、ごみ処理施設に関しては、候補地すら見つからない自治体もあり、一時は田川地区に四つのごみ処



▲ 大任町に建設中のし尿処理施設（汚泥再生処理センター）

理施設が建設される案も浮上。一部の住民からは、費用対効果の観点から四つも必要ないという反対運動も起こりました。

田川地区で共同建設の流れし尿は建設中の施設を拡張

そうした中、平成27年4月の統一地方選挙を機に、田川地区で一つにまとまって、ごみ処理施設を含む一般廃棄物施設を建設しようとする機運が高まりました。

そこで田川地区の各市町村長で協議を行った結果、コスト削減のため、共同で一般廃棄物施設を建設する方向で話し合いが進められることになりました。

その結果、し尿処理施設については、以前から田川郡東部環境衛生施設組合（添田町、香春町、大任町、赤村、川崎町）が大任町内に建て替えを進めていたこともあり、田川市、糸田町、福智町が組合に加入し、建設に加わることで合意しました。

ごみ処理施設の選定は難航大任町に建設地探しを依頼

ごみ処理施設に関しては地元住民の反対などにより、どの自治体も建設場所を選定することができませんでした。

建設場所の選定が進まない中、7市町村は、大任町に対し建設場所の確保を依頼。当初、

大任町はすでにし尿処理施設を建て替え中のため、難色を示しました。

しかし、他の市町村が選定場所を確保することができず、再度、大任町に建設を依頼。大任町も田川地区全体のことを考え、ごみ処理施設についても建設を検討することになりました。

大任町内に候補地を選定大任町長が地元住民を説得

ごみ処理施設の建設の依頼を受け、大任町では建設場所候補を選定。地元住民に対して説明会を実施しました。

当初は反対する住民が大半を占めていましたが、大任町長が自ら共同建設の必要性を説明。何度も丁寧に説明することで、最終的には地元住民の了承を得ることができました。

し尿・ごみ処理施設の建設を7市町村が大任町に委託

ごみ処理施設の建設場所の確保を受け、改めて各自治体は今後の建設計画について協議。し尿処理施設・ごみ処理施設の建設を大任町に委託することで、建設費と建設後の維持運営費を大幅に削減できるという結論に達しました。

そこで、各市町村長で話し合い、各議会での議決を経て、大

任町が建設することが正式に決まりました。

建設費の負担割合も市町村長会議で正式に決定

し尿・ごみ処理施設の建設費は、総工費が約30億円かかることから、負担割合についても各市町村長が協議し、人口割で負担することが決定しました。

大任町長が国に何度も陳情過疎債を充当し実質負担減

大任町が処理施設を建設することが決まり、大任町長は総額300億の予算確保に奔走。地元選出の国会議員である武田良太衆議院議員とともに何度も国に陳情しました。

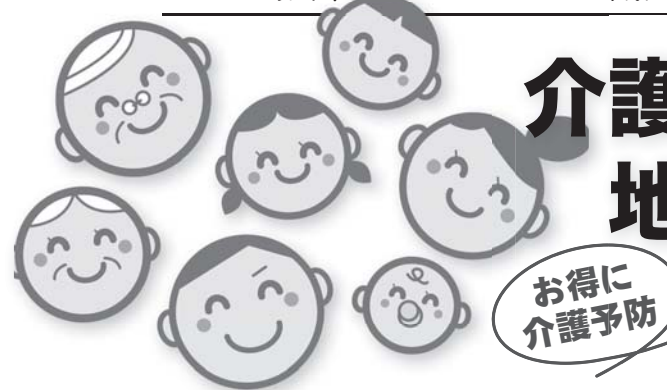
その結果、予算の大部分に国からの交付税措置率が高い過疎債を充当することができるようになり、実質の建設費として70億円程度削減することができました。

最終処分場についても大任町に建設を委託

最終処分場についても、当初は川崎町に建設予定でしたが、田川地区全体の量を受け入れるための拡張は不可能と判明。大任町以外に候補地がないことから、各市町村長の了承、各議会での議決を経て、大任町が建設することが正式に決まりました。

建設後の運営については、今後、各自治体間で協議をしていくことになります。
し尿処理・じん芥処理・埋立処分施設建設室（☎ 63-2254）

介護予防ポイントの交換期間は1月から3月までです



介護予防ポイントと 地域お買い物券の 交換を忘れずに

町が行う介護予防事業や老人クラブ活動への参加、介護保険施設などでのボランティア活動をした場合に、一定のポイントがもらえ、地域お買い物券と交換できる介護予防ポイント事業。1月15日から3月30日まで、介護予防ポイント事業で貯まったポイントを町内で利用できる地域お買い物券に交換できる申請を受け付けます。期限を過ぎると交換できませんので、忘れずに手続きをしてください。



1月15日 から **3月30日** まで
役場開庁時間（土日、祝日を除く8時30分から17時15分まで）

●持参するもの **①介護予防ポイント手帳 ②印かん**

●注意事項

- ▶ 期限を過ぎると地域お買い物券との交換はできません
- ▶ ポイントがたまっていない人もポイントを新しい手帳に引き継ぐことができますので、新しい手帳と交換してください

●ポイント交換の方法

- ▶ 役場①番窓口（保健福祉環境課高齢者支援係）で交換の申請をしてください
- ▶ 元気倶楽部や健康体操教室、高齢者パソコン教室、ストレッチ教室、トランポリン教室の参加者は教室時に集めます

●介護予防ポイント事業の登録者を募集しています

町では、元気な高齢者を対象に介護予防ポイント事業の登録者を募集しています。対象者は、町内在住の65歳上の人で、介護認定を受けていないことなどが条件です。申請は、

役場①窓口で受け付けています。皆さんも日ごろの健康維持や生きがいつくりのための介護予防ポイントを貯めて、お得なお買い物券に交換しませんか。



☎ 役場保健福祉環境課高齢者支援係（☎ 82-1232）



しめ縄づくりやガーデニングに挑戦 シニアパワーアップ塾

シニア世代の皆さんの長年培ってきた豊かな知識や経験、技能を活かし、ボランティア活動などに参加するきっかけをつくるシニアパワーアップ塾。12月8日はオークホールで趣味や活動の幅を広げるため、しめ縄づくりやガーデニングの講座が行われ、塾生の皆さんは、講師の指導のもと、楽しそうに作業していました。



↑冬の間も楽しめる簡単なガーデニング講座を開講

今ある力を精一杯出し切りました 子ども会陸上記録会

快晴に恵まれた12月3日、そえだサン・スポーツランドで、子ども会陸上記録会が行われました。町内の子ども57人が参加し、リレーや走り幅跳びなど5つの競技にチャレンジしました。全員が参加した100メートル走では、少しでも良いタイムを出そうと、スタートの合図と同時に全力で駆け出す姿が見られました。



↑寒さも吹き飛ばし、勢いよく走り出す子どもたち

子どもたちがソフトボールで交流 福太郎めんべいソフトボール教室

11月26日、めんべい添田町工場横のグラウンドで町内外から小中学生13人が参加してソフトボール教室が開催されました。参加者は、ランニングや準備体操でウォーミングアップした後は、福太郎めんべいソフトボール部のメンバーの指導で、ボールを使ってキャッチボールやバッティングなどで楽しく交流していました。



↑福太郎めんべいの皆さんに教えてもらいました

科学実験って不思議でおもしろいね 親子で楽しむ科学実験

11月25日、そえだドームで、科学実験教室が行われました。島根大学教育学部教授で出雲科学館館長の曾我部國久先生を講師に、液体窒素にバラの花やボールなどを入れてみたり、風船で静電気をおこしてみたり、いろいろな実験を行いました。参加した親子は、科学の不思議に驚き、興味と関心を深めているようでした。



↑風船を液体窒素に入れるとしぼんでしまいました

これからの自分をどう生きていくか fucchiEさん人権講演会

オークホールで12月5日、マルチシンガーソングライターのfucchiE(フッチー)さんを講師に、人権講演会が行われました。心温まる歌を手話を交えて披露したfucchiEさん。「いろいろな気持ちを自分で認めることが大切。相手の言葉を傾聴し、良いところを見つけ信頼関係を築いていく」と来場者に語りかけていました。



↑来場者はfucchiEさんの歌声に聞き入りました

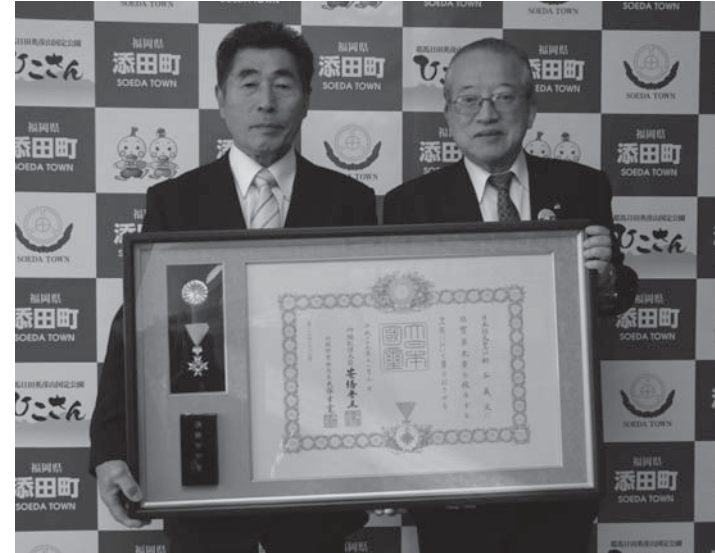
秋が過ぎ、英彦山も本格的な冬支度 鷹巣高原でススキ刈り

英彦山の中腹標高約800メートルの鷹巣高原で、11月末から12月初めの3日間をかけて、地域の皆さんなど約10人が、本格的な冬支度に向けたススキ刈りを行いました。厳しい寒さの中、皆さんは約6ヘクタールの広さの斜面で、高さ3メートル程にもなったススキを1列になって、草刈機を操作し刈り取っていました。



↑刈り取った後は雪が降るとソリ遊びが楽しめます

↓消防団員として災害の被害軽減や人命の保全などに尽力してきた新谷義文さん



新谷義文さんが瑞宝単光章を受章 平成29年秋の叙勲

昭和43年から平成17年までの37年間にわたり、添田町消防団で災害の防止や被害の軽減に尽力した元第6分団長の新谷義文さん(上津野)が、平成29年秋の叙勲で瑞宝単光章を受章しました。「町民の人命や財産を災害から守ることが、消防団に課せられた使命である」と強い信念と責任感を持って、常に第一線に立って活動してきた新谷さん。平成13年から副分団長、15年からは分団長を務めるなど、地域の安全や若手の指導育成にも力を注ぎました。「家族や地域の皆さん、共に頑張ってきた先輩や後輩たちの支えで栄えある章を受けることができ、感謝している。受章の名に恥じないように、これからも精進し、健康の続く限り、地域のために尽くしたい」と笑顔を見せていました。

上級生と下級生で協力し謎を解け 児童館クリスマス☆フェスタ

クリスマス前の12月16日、児童館でクリスマス☆フェスタが行なわれ、幼児や小学生約80人が参加しました。子どもたちは、無くなったクリスマスプレゼントを探し出すため、図書館内などに隠された文字を見つけ出し、暗号を解くゲームに挑戦。上級生と下級生が協力して秘密の暗号「こ・ど・も・の・げ・ん・き・な・え・が・お」を導き出しました。また、添田町虹の会によるパネルシアターやプレゼントの当たるレクリエーションなども行われ、ひと足早いクリスマスを満喫していました。



↑添田町虹の会によるパネルシアター

↓謎解きゲームやじゃんけん大会など、大盛り上がりのクリスマス☆フェスタ



↓防犯や交通安全、暴力追放などを決意。安心で安全な町を願い餅をつきました



暴力追放、安心・安全なまちづくり 歳末防犯交通安全もちつき・暴力追放住民総決起大会

年末恒例の防犯交通安全もちつき・暴力追放住民総決起大会が12月15日、役場前駐車場で行われました。田川警察署や消防団、交通安全協会、婦人会の皆さんなど約150人が参加して、紅白餅をつきあげました。また、町内小学生から募集した防犯ポスターの表彰式なども行われ、寺西町長が「暴力を町から追放し、安全、安心なまちづくりに力強く取り組んでいきたい」とあいさつ。最後は宣言とシュプレヒコールを参加者全員で唱えて、安心・安全で住みよい町の実現を誓い合いました。



↑防犯ポスターコンクール入賞者たち

1月生まれ
HAPPY
BIRTHDAY

おめでとう

園 役場総務課広報・秘書係 (☎ 82-1231)



◎3歳までのお子さん募集中
2月生まれは1月17日迄まで

Eメールは①お子さんの写真 ②お子さんの氏名 ③名前の読み方 ④誕生日 ⑤年齢 ⑥行政区 ⑦メッセージ(50文字以内) ⑧保護者の連絡先を送信してください。

送信先
koudojyouhou@town.
soeda.fukuoka.jp



しめ縄づくりを名人から教わる
落合小学校でしめ縄づくり

落合小学校で12月5日、3年生から6年生の児童21人が、しめ縄づくり体験をしました。慣れない手つきの児童たちでしたが、しめ縄づくりの名人である



↑健康や幸せへの祈りを込めて作りました

地域の皆さんから教わりながら、きれいに形を整え完成。小さな手でわらをひねりながら、しめ上げていく児童たちの姿に名人たちは目を細めていました。

みどり保育園児が楽しく餅つき

美深町からもち米届く



↑先生と一緒に重たいきねで餅をつきました

姉妹町の北海道美深町からも約180キロのもち米が届き、各小中学校や保育園などで給食や餅つきに使われました。みどり保育園では、12月13日、餅つきが行われ園児たちが「ペッタン、ペッタン」の掛け声でつき上げました。美深町の皆さん、ありがとうございました。

赤十字活動を地域で支えます

地域赤十字奉仕団員研修会



↑避難所でのストレス緩和方法も学びました

オークホールで11月29日、町内外から約50人が参加し、地域赤十字奉仕団員研修会が開催されました。地域赤十字奉仕団とは赤十字の活動を支える地域ボランティアの皆さんで、今回は、九州北部豪雨での赤十字の活動報告や災害時の炊き出しの講習などが行われました。

教育のひろば

数分間に思いを込めて

第33回添田町少年の主張大会／主催・添田町青少年育成町民会議

園 社会教育課生涯教育係 (☎82-2559)



12月1日、添田町少年の主張大会が、オークホールで行われました。地域のことや将来の夢などを、町内小・中学校の代表8人が思いを込めて発表。子どもたちの心に響くメッセージに、会場からは惜しめない拍手が送られていました。審査の結果、添田小学校6年生の荒木佳穂さんが最優秀賞に選ばれました。

心に響く、メッセージ



添田中学校1年生
寺岡 耶々さん



真木小学校6年生
松井 萌さん



中元寺小学校6年生
伊藤 寛人くん



添田小学校5年生
松嶋 咲彩さん



添田中学校2年生
村井 伶圭さん



添田小学校6年生
荒木 佳穂さん



落合小学校6年生
梅野 陽生くん



津野小学校6年生
宮内 彩羽さん

※荒木さんは添田町代表として、2月17日に大任町で開催される田川地区大会に出場します。

文芸歳時記

【俳句 添田福寿句会】

健やかな歓び謝して年用意
虫喰菜いきいきとして冬に入る
銀杏の実戴き老いて思案かな

鶴原 幸江
安藤はじめ
熊谷トシエ

【俳句 天籟通信添田句会 大池青湖選】

川原の石の乾きや冬に入る
朴落葉踏めば原始の火の匂い
追憶の人となり果て神無月
言い訳をせぬも身のため石路の花
菊枕待たずに夫は永遠の旅
朝寒や新聞受けの遠くなり
夕コ焼の上手に丸まる文化の日
故郷を出る刈田の風を身にまとい

諫山 静香
池 三太
安永 藻香
石谷タツ子
牧野八寿子
松尾 春揚
森田 竹子
大池みどり

【短歌 春扇短歌会 筑紫支社】

良き事を望むに非ずただその日

その日を無事にと祈りつつ過ぐ

大塚 成子

社会人となりし孫よりお年玉

ピンク色なるヒートテックよ

五十嵐田鶴

空蒼く地にうすき霜音もなく

この正月の清やかな朝

大塚 富江

一年を振り向き思へは其処彼処に

嬉しき事の鏤められて

平井 朝子

豪雨に逢ひ先見えぬ人の痛ましく

吾が身の幸せ申し訳なし

木村 寛子

浜辺の歌今朝一節を口づさむ

夕べの練習に意気たかまりて

福富 廣枝

静かなるお寺の手摺に蟬の羽化

震へるやうに時を待ちをり

荒巻ミサ子

【俳句 投稿】

初晴れや炭坑無きこの地過疎深む
師走きて町にあふれるシクラメン
団栗に背中たたかれ気配見る

濱田イサオ
寺本 紀子
村岡 清香

離れ居しも名月一に夫と観る

薄紅葉僧の目青き天龍寺

島津余史衣

秋天へ恐竜像の吠ゆるかに

竹林に窓開け放つ白露かな

斎藤智寿子

秋寂ぶや里をはなるる汽車の笛

柴田 一世
天野ユキ海
立花 克明

【短歌 投稿】

氷雨ふる朝の神社に列なして

ただ一心に祈る人びと

独活山強実

◎2月号に掲載する俳句・短歌・川柳を募集します

1月17日迄までに役場総務課に連絡してください。
※投稿は1人一句まで。俳句・短歌・川柳の区分を書いてください。

園 役場総務課広報・秘書係 (☎ 82-1231)

試験・募集

く子供たちにおいしい給食を、給食調理員を募集します

町立小学校に勤務する学校給食調理員を募集します。意欲があり、健康な人は、ぜひ連絡ください。



町立小学校に勤務する学校給食調理員を募集します。意欲があり、健康な人は、ぜひ連絡ください。

勤務日 月に5〜10日程度(学校から要請のある日)

勤務時間 9時〜16時30分

賃金 月額6000円

募集人数 1〜2人程度

※詳しくは問い合わせください。

町教育委員会学校教育課教育管理係(☎82-5963)

ふれあいの館そえだジョイ臨時職員募集

募集人数 1人(浴室係)

必要資格 普通自動車免許

業務内容 ①施設内浴室受け付け・館内清掃 ②配色サ―ビス事務補佐

勤務時間 ①8時30分〜17時15分 ②12時15分〜21時

給与 月額13万4400円〜14万800円

税金と保育料のあれこれ

納期限が過ぎました 納め忘れはありませんか

町県民税・固定資産税・軽自動車税の納め忘れはありませんか

町県民税・固定資産税・軽自動車税の各納期限が過ぎました。納め忘れのある場合は、早急に役場会計窓口、または町指定金融機関で納めてください。

住民課税務・滞納対策係では、滞納者に対して、滞納処分(預金の差し押さえ等)などの厳しい対応を行っています。

納付にあたり、納付書を紛失した場合などは問い合わせください。

役場住民課税務・滞納対策係(☎82-1234)

保育料を滞納すると 児童手当から徴収されます

児童手当法では、児童手当から受給者の申し出を必要としない「保育料の特別徴収」が可能となっています。

特別徴収とは、児童手当受給者と保育料の支払い義務者が同一であり、特別な事由なく滞納が続いた場合に、町が受給者の申し出の有無に関係なく児童手当支給の際に、その手当から現年の保育料を徴収できるというものです。

特別な事由などで保育料の支払いが困難な場合は、必ず相談してください。

役場保健福祉環境課子育て支援係(☎82-1232)



勤務場所 田川・桂川支部(田川市)／採用人数2人

業務内容 介護保険認定に関する訪問調査など

申込期間 1月9日(火)〜31日(木) 平日9時〜17時

※申込用紙は1月4日(木)から、役場保健福祉環境課または福岡県介護保険広域連合田川・桂川支部の窓口、ハローワーク田川で配布します。

福岡県介護保険広域連合田川・桂川支部(☎49-1093)

自衛官採用試験・説明会

【第6次自衛官候補生採用試験】

試験日 1月21日(日)、22日(月)

試験会場 福岡駐屯地、小倉駐屯地、久留米駐屯地

6日(火)

町県立北九州視覚特別支援学校

(☎093-651-5419)

田川看護高等専修学校 学生募集(准看護師)

試験日 1月27日(日)

試験会場 田川看護高等専修学校(田川市)

受験資格 中卒(見込み)以上

試験科目 学科(国語・理科)

中卒程度、面接

受験料 2万円

願書料 1000円(郵送希望の人は小為替1000円と送料140円切手を同封して申し込みください)

※詳しくは問い合わせください。

町田川看護高等専修学校(☎42-3267)

相談

保健師・管理栄養士が 個別健康相談に応じます

とき 1月18日(木) 15時30分〜16時30分

ところ クアハウスハピネス

内容 健診結果や食生活、栄養改善に関する

ことなど、気軽に

に相談してください

役場保健福祉環境課健康対策係(☎88-8111)



対象 東京都またはその近郊の大学に平成30年度に初めて入学する

(見込可) 学生で、保護者が福岡県内に居住し、生活の本拠を有する人

募集予定人数 英彦寮(男子)40人、筑紫寮(女子)14人

所在地 神奈川県横浜市青葉区荏田西1丁目14番2号

負担経費 入館日5万円、館費月額5万円(朝食費込み)、電気使用料など

入館期間 平成30年4月1日〜平成32年3月31日(2年間)

募集期間 1月9日(火)〜2月



相続登記手続きに関する 無料相談

福岡県司法書士会では、2月を「相続登記はお済みですか月間」と定め、県内の司法書士が、相続登記手続きに関する相談に無料で応じます。

とき 2月1日(木)〜2月28日(金)

ところ 福岡県司法書士会会員事務所

※司法書士総合相談センター(平日10時〜16時)にて、最寄りの司法書士事務所を紹介しますので、相談日時は紹介先の司法書士と調整してください。

町司法書士総合相談センター(☎0570-783-544)

期間 12月31日・1月1日〜3日 一部区間 路線変更 町バス年末年始のお知らせ



期間中、神宮下へは乗り入れません。

【豊前坊行き】

別所駐車場 → ひこさんホテル入口

【JR彦山駅行き】

ひこさんホテル入口 → 別所駐車場

町添田町バス(☎82-5580)

役場まちづくり課(☎82-1236)

学生の猶予や免除制度もあります

新成人の皆さんは忘れずに 国民年金加入手続き



20歳になる誕生月に日本年金機構から、国民年金の加入手続きの通知が届きます。必要事項を記入して、役場住民課保険年金係へ提出してください。後日、年金手帳と国民年金保険料納付案内書が送付されます。年金手帳は生涯使用しますので、大切に保管してください。

なお、国民年金保険料の納付が困難な場合は、加入手続きと同時に「学生納付特例」や「保険料免除・一部納付(免除)制度」の申請手続きをおすすめします。申請を行わないまま保険料が未納になっていると、将来の年金額が減ったり、万一のときに障害年金が受け取れないなど思わぬ事態を招きますので、ご注意ください。

●学生納付特例制度

学生本人の前年所得が118万円以下の場合、20歳誕生月から翌年3月まで保険料納付が猶予されます。

▶申請に必要なもの

▷年金手帳 ▷印鑑(本人署名の場合は不要) ▷学生証(コピー可)または在学期間のわかる証明書 ※学生証のコピーは両面が必要です。

●保険料免除・一部納付(免除)制度

「申請者本人」や「申請者の配偶者」などの前年所得などが定められた基準に該当することが必要です。

▶申請に必要なもの

▷年金手帳または納付書などの基礎年金番号のわかるもの ▷印鑑

※失業を理由にするときは、雇用保険被保険者離職票や雇用保険受給資格者証(いずれもコピー可)なども必要です。

町役場住民課保険年金係(☎82-5966)

直方年金事務所(☎0949-22-0891)



年頭のごあいさつ

迎春

添田町議会 Soeda Town Assembly

新年あけまして

おめでとうございます



添田町議会議長 田中 正

平成三十年の年頭にあたり、添田町議会を代表いたしまして、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお健やかに迎えることと心からお慶び申し上げます。また、日頃より町政の発展と議会運営に対し、温かいご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年、私は田川郡町村議長会会長として選出されました。新しい年を迎え、その責任の重さを改めて感じるとともに、添田町をはじめ田川地域のさらなる発展のために引き続き努力して

まいりたいと決意を新たにしております。

本町は厳しい財政状況の下、人口減少に伴う過疎化や少子高齢化、あるいは基幹産業であります、農林業における後継者不足や耕作放棄地の増加、有害鳥獣による被害、さらには、七月に発生した九州北部豪雨災害の復旧・復興といったさまざまな課題を抱えております。

こうした中、地方分権の進展に伴い、議会が一層大きな役割を担うこととなります。今後とも活発な論戦を通して審議のさらなる活性化を推進し、政策立案機能の強化に努めなければならないと考えます。

町議会といたしましては、議員の果たす役割を再確認し、皆さまの声が行政に十分反映されるよう、議員一同、添田町の発展、住民福祉の向上に全力で取り組む決意であります。

終わりに、この新しい年が皆様にとってより良い年になりますよう祈念申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

